

News Release

-30° C の北極圏！ 極限環境に挑む Hyundai の 高性能 EV プロトタイプ 「IONIQ 5 N」

- Hyundai N ブランドは、スウェーデン・アリエプログの冬季の極寒の下で、AWD の電気自動車「IONIQ 5 N」をテストしています。
- N ブランド初の高性能量産モデル EV として 2023 年 7 月にデビューする IONIQ 5 N は、Hyundai の電動化の未来をさらに加速させます。
- N ブランドは、高性能 EV の新しいラインアップによって、ブランド進化の転換を告げる IONIQ 5 N のティーザーを初公開します。

アリエプログ（スウェーデン）、2023 年 3 月 30 日 - Hyundai Motor Company は、スウェーデンのアリエプログにある Hyundai Mobis 試験場で、N ブランド初の高性能量産 EV 「IONIQ 5 N」の冬季極寒テストの詳細を明らかにしました。

北極圏に隣接するアリエプログの Hyundai Mobis 実験場は、グリップ係数の低い氷結した路面や氷点下-30° C (-22° F) など、自動車メーカーが総合的な冬季テストを行うために必要な要素をすべて備えています。これにより、Hyundai N のエンジニアは、IONIQ 5 N などのニューモデルを最も過酷な低摩擦条件でテストし、応答性に優れた「fun-to-drive」と氷点下での安全で予測可能な性能の間の最適なバランスを実現することができます。

IONIQ 5 N において Hyundai は、EV 専用プラットフォーム E-GMP（Electrified-Global Modular Platform）とモータースポーツで培った N の技術とノウハウを融合し、高性能の電動化の水準を高め、真の運転好きが通年で使用可能なパフォーマンス EV の選択肢となることを目指します。

「ニュルブルクリンクの鋭いコーナーで磨かれた当社の N モデルは、アリエプログの性能試験場の鋭いコーナーと氷の表面で研ぎ澄まされ、最も過酷な冬の条件でも最高のパフォーマンスを保証します。私たちは、IONIQ 5 N が当社の広範な性能基準を完璧に満たしていることを証明し、当社初の量産 EV N モデルとして N ブランドの成功を約束すると自負しています」と、Hyundai Motor Company の N ブランド管理およびモータースポーツ部門副社長であるティル・ワルテンベルグは述べています。

モータースポーツから着想を得た「Corner rascal」、「Racetrack capability」、「Everyday sportscar」という N の性能についての 3 つの柱は、N の電動化戦略にも適用されています。2015 年、N ブランドは N 2025 Vision Gran Turismo を公開し、次世代の運転好きのための持続可能な未来というビジョンを確立しました。N の電動化戦略は、RM20e プロトタイプと Veloster N ETCR レーシングカーから始まりました。昨年、N ブランドは、今年後半に発売予定のブランド初の量産 EV「IONIQ 5 N」に向けて、N の電動化の経験を伝えるために設計されたローリングラボ RN22e を発表しました。

「当社の EV シフトは、レースで実証済みの Veloster N ETCR によって主導され、私たちは、RN22e によってモータースポーツ技術を公道での走行に橋渡ししようと努めました。今こそ、このすべての約束を親愛なるお客様にお届けする時であり、IONIQ 5 N はそれを実現できると確信しています。私たちは、スウェーデンのアリエプログの厳しい環境下でも運転する楽しさを提供する IONIQ 5 N の性能を実証できました」と Hyundai Motor Group のエグゼクティブ・テクニカルアドバイザーであるアルベルト・ピアマンは述べています。

IONIQ 5 N において N ブランドのエンジニアは、IONIQ 5 の E-GMP のデュアルモーター・アーキテクチャーを最適化し、Hyundai i20 N WRC Rally 1 カーによってスウェーデンで実証された全路面 AWD 性能のノウハウを用いてあらゆる走行条件で（アリエプログの氷の湖でも）高い性能を発揮できるようにしました。

IONIQ 5 N は、N ブランドの市販車として初めて全輪駆動（AWD）を装備します。N の AWD の歴史は、2015 年の世界ラリー選手権（WRC）への参戦で始まりました。Hyundai は 8 年間にわたり WRC に出場し、2 度の世界チャンピオンを含む数々の栄誉を獲得してきました。

さらに、IONIQ 5 N のコーナリング性能は、前後トルク配分、トルクレート、サスペンションの剛性、操舵力、e-LSD（電子制御式リミテッドスリップディファレンシャル）システムを統合するドリフト専用走行モードの「Nドリフトオブティマイザー」により、さらに強化されています。初めてドリフトに挑戦するドライバーにも特に配慮されており、あらゆるスキルレベルのドライバーがドリフト走行を楽しむことができます。

IONIQ 5 N 専用にチューニングされた e-LSD によって、電子制御ユニットがホイールセンサーからの入力をモニターし、特定のホイールがトルクを必要とするタイミングを正確に判断して車両全体のグリップを向上させます。つまり、サーキットでのコーナリングや高速走行、氷結や深雪などの悪条件の下でも、e-LSD はハンドリングを向上させます。IONIQ 5 N 専用に設計された e-LSD は、内燃機関車と比較して反応速度の速い EV のトルク伝達を考慮し、より速いレスポンスと精度を実現しています。

さらに、IONIQ 5 N は、ドライブモードごとに最適化された「Nトルク配分」を採用しており、前後のホイールへのトルクレベルをドライバーが選択することができます。4 輪のすべてに様々な比率でパワーを配分するために連動する「Nトルクディストリビューション」と e-LSD は、アリエプロッグのような極端に低摩擦の条件でも、EV 特有の瞬間的でシームレスなパワー伝達に素早く対応できるように特別に設計されています。

N ブランドは、冬季テストに合わせて、IONIQ 5 N のコーナリング特性をハイライトした「Hyundai N | IONIQ 5 N Teaser - Episode 1」を公開しました。この動画には、Hyundai モータースポーツの i20 N WRC Rally 1 カーと IONIQ 5 N のドリフト対決が描かれています。舞台は、電動化時代へと一歩進化した、N ブランドの新時代の幕開けを象徴する日の出前のブルーアワーです。

7月に予定される IONIQ 5 N のグローバルデビューに向けて、追加情報と詳細がリリースされます。

Hyundai (ヒョンデ) について

1967年に設立された Hyundai Motor Company は、世界 200 カ国以上で事業を展開し、12 万人以上の従業員を雇用しており、世界中のモビリティに関する現実的な課題に取り組んでいます。ブランドビジョンである「Progress for Humanity」に基づき、Hyundai Motor はスマートモビリティ・ソリューション・プロバイダーへの転換を加速しています。Hyundai は、革新的なモビリティソリューションを実現するために、ロボティクスや Advanced Air Mobility (AAM) などの先進技術に投資し、未来のモビリティサービスを導入するためのオープンイノベーションを追求しています。世界の持続可能な未来のために、Hyundai Motor は業界をリードする水素燃料電池と電気自動車技術を搭載したゼロエミッション車を導入するための努力を続けていきます。

Hyundai Motor Company とその製品に関するより詳しい情報は、以下をご覧ください。

<http://worldwide.hyundai.com> または <http://globalpr.hyundai.com>